

当山小学校分離新設校の早期実現に関する要請決議

浦添市立当山小学校は昭和 51 年 4 月、児童数 343 人、普通教室 12 学級で設立され、スタートした。その後児童数の増加に伴い平成 18 年 2 月校舎改築完了時には児童数 957 人、普通教室 27 学級となった。その間、当山小学校区では環境に大きな変化があり、教育現場にも大きな影響がでている。したがって、教育現場の改善は喫緊の行政課題となっている。

現在、当山小学校は児童数 1,072 人、31 学級（特別支援学級を除く）の過大規模校となっており、そのため、科目によっては週 1 回の割り当ても困難になるなど、適正規模校と同等の授業機会すら確保できない学習指導上の問題や児童の生活面の問題等々、様々な問題が生じている。

住基データによる市の推計では、当山小学校は平成 29 年度に児童数 1,138 人、32 学級に、平成 30 年度には児童数 1,154 人、33 学級が見込まれている。ただし、この推計には現在開発中の都市モノレール「てだこ浦西駅」周辺開発計画による人口増は反映されておらず、同地区の今後の社会基盤の変化に伴い、児童数は確実に増加すると見込まれる。

そこで、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では過大規模校については速やかに、その解消を図るよう設置者に促しているところである。また、今年度より「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことにより、幼稚園児の定員もふえ、放課後児童健全育成事業の拡充も盛り込まれ、放課後児童クラブの待機児童解消が進められており、その対応も急務だと考える。

そこで、当山小学校区 8 自治会、当山小 P T A では保護者、地域の意見等を集め、その解決には「分離新設」が望ましいとの結論に至り、市に対して要請を行ったとのことである。

子供たちは日々成長しており、一刻の猶予もない。よって、本市議会は、子供たちに「適正」で「標準」的な教育環境の整備として、当山小学校分離新設校の早期実現を要請する。

以上、決議する。

平成 27 年 12 月 22 日

浦添市議会

宛先

浦添市長 浦添市教育委員会委員長